

ENEOSホールディングス株式会社

ENEOS REPORT

株主通信

2020 冬号

2020年度上半期 ご報告

2020年4月1日

2020年9月30日



ENEOS

JXTGホールディングス株式会社は
ENEOSホールディングス株式会社になりました。

証券コード 5020

ENEOSグループ理念

使命

地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。
エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。

大切にしたい価値観

社会の一員として	■ 高い倫理観	誠実・公正であり続けることを価値観の中核とし、高い倫理観を持って企業活動を行います。
人々の暮らしを支える存在として	■ 安全・環境・健康	安全・環境・健康に対する取り組みは、生命あるものにとって最も大切であり、常に最優先で考えます。
活力ある未来の実現に向けて	■ お客様本位	お客様や社会からの期待・変化する時代の要請に真摯に向き合い、商品・サービスの安定的な供給に努めるとともに、私たちがだからできる新たな価値を創出します。
	■ 挑戦	変化を恐れず、新たな価値を生み出すことに挑戦し続け、今日 ^{こんにち} の、そして未来の課題解決に取り組めます。
	■ 向上心	現状に満足せず、一人ひとりの研鑽・自己実現を通じて、会社と個人がともに成長し続けます。

グループ理念に込められた思い

限りあるエネルギー・資源・素材の効率的・安定的な供給を通じて、活力ある未来づくりに貢献すること。それは、社会やそこで働き、暮らす皆様一人ひとりの今と未来を見つめることから始まります。私たちは、日々の企業活動における創造と革新を通じて、社会や人々の暮らしの今を支え、未来をより良く変える力になりたいと考えています。

目次

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 2 株主の皆様へ | 11 ENEOSグループのESGの取り組み |
| 3 社長メッセージ | 13 ニュースフラッシュ |
| 6 特集 第2次中期経営計画 | 14 会社情報 |
| 9 2020年度上半期決算(IFRS)の概況 | 15 株主情報 |
| 10 各事業別営業利益 | |

本ENEOS Reportには、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、(1)マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化 (2)新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う経済活動への影響 (3)法律の改正や規制の強化 (4)訴訟等のリスク などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、低炭素・循環型社会形成に向けた世界的な動きの加速、資源価格の変動、急速な国内燃料油需要の減少等、過去に例を見ない変化に直面しています。このような変化の激しい事業環境に対応するため、当社は2020年6月、意思決定の迅速化を図るべくエネルギー事業会社と実質的に経営を一体化して「ENEOSホールディングス株式会社」に社名を変更しました。

また、2020年度から新たにスタートした第2次中期経営計画では、長期ビジョン実現に向けて、ENEOSブランドの高い知名度やサービスステーション(SS)ネットワーク等の当社の強みに、デジタル技術や異業種異分野の知見を導入し、次世代型エネルギー供給・地域サービス事業等の成長事業を育成・強化していきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大が続いておりますが、当社グループは引き続き感染拡大の防止に努めるとともに、これからも社会に必要とされる企業であり続けるために、エネルギー・素材を安定供給するという社会的使命を果たし、持続的かつ安定的な成長へ向けて改革を着実に推進してまいります。

今後とも、皆様の変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2020年12月



代表取締役会長
グループCEO

杉森務

代表取締役社長
社長執行役員

大田勝幸

■ 社長メッセージ



新型コロナウイルス感染症の影響により
事業環境が大きく変動していますが、
長期ビジョンの実現に向けて
中期経営計画の各施策を着実に遂行し、
持続的な成長へつなげてまいります。

代表取締役社長 社長執行役員 **大田勝幸**

● 2020年度上半期の連結業績

2020年度上半期の連結業績は、売上高3兆3,623億円
(前年同期比△1兆7,008億円)、営業利益889億円(同△
420億円)、在庫影響*を除いた実質営業利益1,259億円
(同△443億円)、親会社の所有者に帰属する当期利益は
364億円(同△346億円)となりました。

*在庫影響:在庫の評価によって発生する会計上の損益。

● 2020年度上半期の主な取り組み

〈エネルギー事業〉

石油精製販売・化学品事業については、国内石油製品の
構造的な需要減退やアジアを中心とした国際競争の激化、
新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ禍)の影響などに
より、取り巻く事業環境は厳しさを増しています。

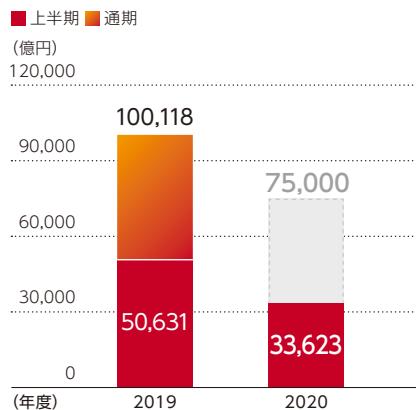
～最適な生産・供給体制の構築～

厳しい環境変化に対応するため、製油所・製造所のサブ
ライチェーン全体の競争力強化と、安定供給を前提とした
最適な生産・供給体制の構築を進めています。

これまでも「室蘭製造所の事業所化」「川崎製油所と
川崎製造所の組織一体化」などの施策を実行してしまし
たが、2020年9月、ENEOS株式会社と中国石油国際事業
日本株式会社との合弁会社(大阪国際石油精製株式会社)
が運営する製油所を大阪製油所から千葉製油所へ変更の
うえ、千葉製油所を輸出型の製油所として合弁事業を継
続することについて中国石油国際事業日本株式会社と最
終合意しました。大阪製油所は、2020年10月に精製機能
を停止し、アスファルトを燃料とする発電設備を運営する
事業所としました。さらに、知多製造所の製造機能を
2021年10月を目途に停止することも決定しました。

連結売上高

3兆3,623億円



連結営業利益

889億円



親会社の所有者に帰属する当期利益/ROE

364億円



～成長事業の育成～

国内石油製品需要の減少に対応するための製油所・製造所再編を進めるなど、基盤事業の構造改革を進める一方で、成長事業の育成にも取り組んでいます。

2020年6月、ENEOSでんきの全国展開(沖縄電力エリア・離島を除く)を開始しました。また、室蘭バイオマス発電所の商業運転開始、秋田における洋上風力発電事業への参画、全国3カ所でのメガソーラー発電所の運転開始など、環境にやさしい分散型電源事業を着実に進めています。

さらに、2040年グループ長期ビジョンの実現に向けて、お客様が望む利便性の高いサービスをトータルで提供するENEOSプラットフォームの構築を目指し、自治体と連携した街づくりを推進しています。ENEOSサービスステーションを拠点とした地域サービスでは、コインランドリー事業やカーリース事業などを進めています。また、2020年7月からは、最新の国際基準に適合し省エネ機能

を向上させたエンジンオイル「ENEOS X」シリーズの販売を開始しています。

〈石油・天然ガス開発事業〉

石油・天然ガス開発事業では、選択と集中の徹底と、低油価に耐えられる強靱な体質の構築を目指し、当社グループの強みを発揮できる地域や技術分野にこだわった施策を実行しています。

また、既存資産の価値最大化および競争力強化のため、高精度の生産予測、遠隔操業による効率化、地下構造・速度分布の高度予測など、デジタル技術を積極導入していきます。

〈金属事業〉

金属事業では、チリのカセロネス銅鉱山の安定操業・生産効率化による競争力強化と、先端素材分野での事業規

模拡大を目指しています。カセロネス銅鉱山については、生産性の向上と安定操業に向けた取り組みを強化してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、操業度を落として生産活動を行いました。なお、2020年11月、同銅鉱山の共同出資者である三井金属鉱業株式会社と三井物産株式会社が保有するすべての権益をJX金属株式会社が譲り受けることについて基本合意しました。今後も、高品位で不純物の少ない優良鉱石を産出するカセロネス銅鉱山の生産量維持・拡大に取り組んでいきます。製錬事業では、佐賀関製錬所を100%子会社化して製錬とリサイクルを一体運営とすることで効率化・コスト削減施策に取り組み、さらなる競争力強化に努めました。

先端素材分野では、コロナ禍によるデータ通信需要の増大などを主因として、多くの製品において販売量が堅調に推移しました。今後も、IoT・AI社会のさらなる進展に伴い、各種先端素材の需要は拡大していく見込みです。2020年6月には、圧延銅箔・高機能銅合金条および半導体用スパッタリングターゲットの増産に向けた設備導入が完了しました。今後も、需要の増加に合わせて段階的に設備能力増強を進めていきます。

● 2020年度通期の連結業績見通し

2020年度通期の連結業績見通しは、上半期の実績、直近の事業環境などを踏まえ、前回(2020年5月)公表から上方修正しました。売上高7兆5,000億円(前回予想比+1,600億円)、営業利益2,000億円(同+900億円)、在庫影響を除いた実質営業利益1,900億円(同+250億円)、親会社の所有者に帰属する当期利益900億円(同+500億円)としています。

2020年度は、コロナ禍により石油製品需要が低調に推

移していることに加え、石油化学品市況の低迷が続いています。エネルギー事業における最適な製油所ネットワークの確立、金属事業におけるカセロネス銅鉱山の安定操業・生産効率化など、基盤事業の競争力強化と、成長事業の育成・強化のための各施策を着実に進めていきます。

● 株主還元の方針

当社は、株主の皆様への利益還元が経営上の重要課題であるとの認識のもと、中期的な連結業績の推移および見通しを反映した利益還元の実施を基本としながら、安定的な配当の継続実施に努めています。

今中計期間中(2020年~2022年)における株主還元の考え方は、配当については現状を下回らない水準とすること、また、総還元性向を3力年累計の在庫影響除き当期利益の50%以上とすることとしています。2020年度では、1株当たり年間22円の配当を予定しています。足元、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いていますが、株主の皆様へさらなる還元を実施していくために、各施策を着実に推進し、業績の向上に努めます。

		2019年度 実績	2020年度 見通し
前提 条件	為替(円/ドル)	109	106
	原油価格(ドル/バレル)	60	41
	銅価(セント/ポンド)	266	275
数値 指標 等	売上高(億円)	100,118	75,000
	営業利益(億円)	△1,131	2,000
	在庫影響除き営業利益(億円)	967	1,900
	親会社の所有者に帰属する当期利益(億円)	△1,879	900
	ネットD/Eレシオ(倍)	0.7 (2020年3月末)	0.7 (2021年3月末)

2020年5月、当社は第2次中期経営計画(2020~2022年度)を策定しました。
前号に引き続き、当社の成長事業の戦略を紹介します。

成長事業

石油化学品事業

ケミカルリファインリー化の推進と誘導品分野への進出により競争力・収益力を強化

素材(電子材料)事業

高性能・高付加価値な製品への材料供給により社会の発展に貢献

次世代型エネルギー供給・
地域サービス事業

SS(サービスステーション)ネットワークの活用
分散型電源の活用

次の
ページへ

環境対応型事業

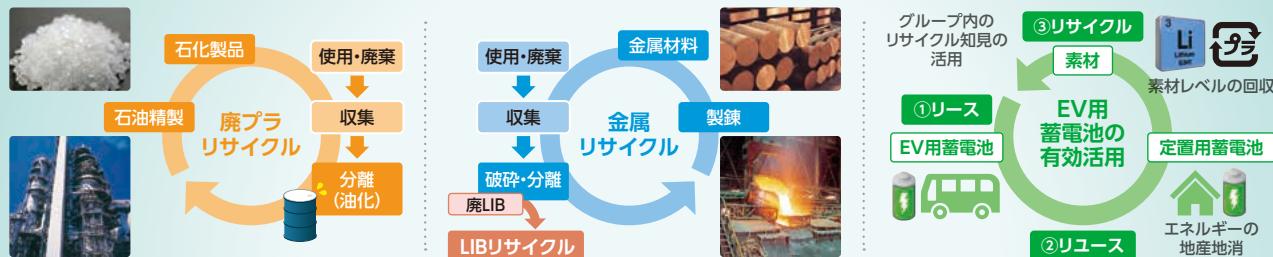
リサイクル(廃プラ・金属・EV用蓄電池)
CCS/CCUS*

詳細は
2020夏号
参照

リサイクル

<長期ビジョン>

製油所・製錬所を活用した廃プラ・金属リサイクルおよびEV普及によりニーズが高まる
車載用リチウムイオン電池(LIB)リサイクルを推進し、循環型社会の形成に貢献します。



今中計の
施策

- ▶ 製油所を活用した廃プラスチックの油化リサイクルの実証(三菱ケミカル株式会社との協業含む)
- ▶ 廃LIBに含まれるレアメタルを収集して再利用する車載用LIBリサイクルの25年以降の事業化を検討
- ▶ 中国の自動車メーカーBYD社との協業によるEVバス向け蓄電池の「リース・リユース・リサイクル」循環モデル構築を推進

CCS/CCUS

<長期ビジョン>

知見のある東南アジア域を中心に、CCS/CCUSを展開し、グローバルな低炭素社会の形成に貢献します。

今中計の
施策

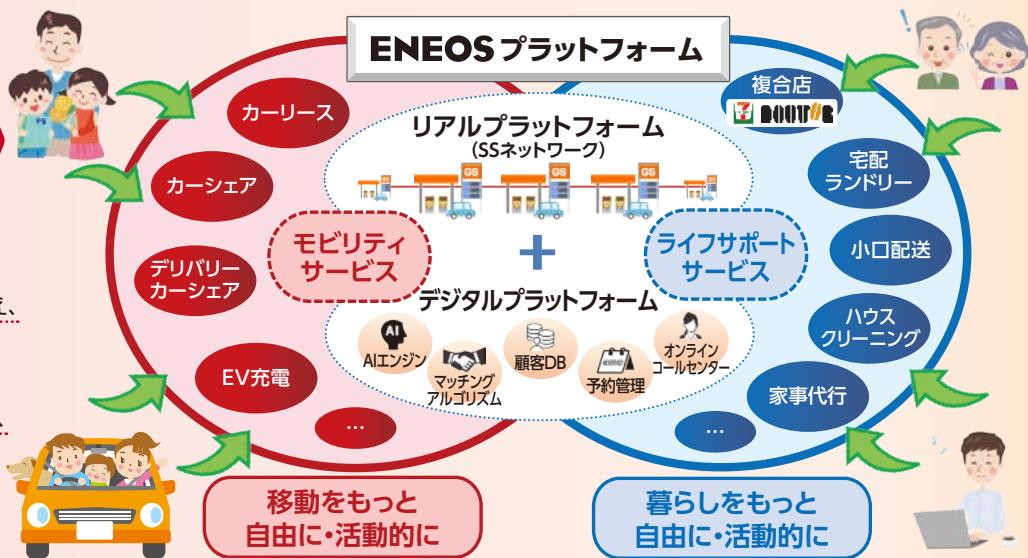
- ▶ 米国CO₂-EOR事業を通じて培ったCCS/CCUS技術等を活用し、マレーシア、インドネシアの各国営石油会社と共同で低環境負荷型資源開発事業の実証スタディを実施

* CCS/CCUS…CO₂の貯留、利用(火力発電所などから回収したCO₂を油田に圧入し生産効率を改善する手法など)。詳細は、2018年冬号を参照

SSを起点とした 次世代型エネルギー 供給・地域サービス

<長期ビジョン>

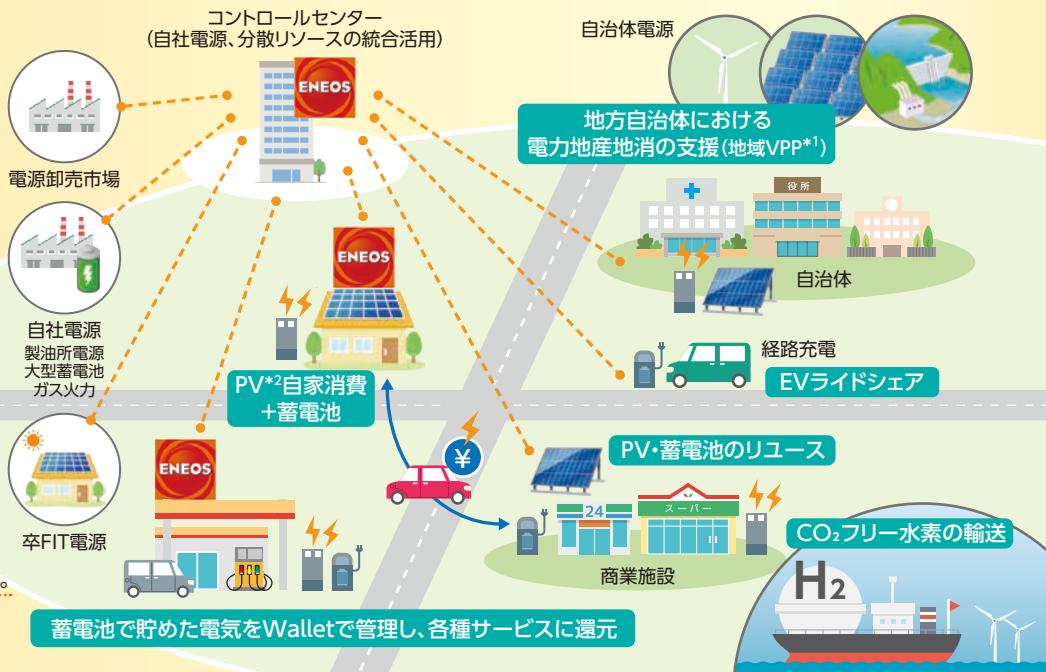
SSを起点として、既存サービスに加え、モビリティサービス・ライフサポートサービスを創出し、お客様のライフステージに合わせて、必要とされるサービスをトータルで提供できるプラットフォームへの成長を目指します。



分散型電源の 活用を中心とした 次世代型エネルギー 供給・地域サービス

<長期ビジョン>

低炭素エネルギーの安定効率供給に向けて、分散電源の統合活用により、顧客の様々なニーズに対応した電力サービスの展開を目指します。CO₂フリー水素のサプライチェーン構築に取り組みます。



ライフサポートサービス —暮らしを豊かにするためのサービス—

- ▶ 提携/協業による新たなビジネスモデルの構築
- ▶ ENEOSのブランド力、特約店の地域密着性、SS店頭というリアル接点を活かしたサービスを拡充(コインランドリーなど)

モビリティサービス —移動や運搬をスムーズに行うためのサービス—

- ▶ 「お届けカーシェア」のビジネスモデル構築
- ▶ SSの顧客接点を活用したカーリース事業の展開
- ▶ EVによる中/長距離移動に対応する経路充電サービスの実証

自治体と連携した街づくりを推進

エネルギーサービス —エネルギー供給に関するあらゆるサービス—

- ▶ 顧客基盤の拡大と最適な電源ポートフォリオの構築
 - 全国でのENEOSでんき顧客の規模拡大および五井火力発電所の推進(2024年度運転開始予定)
 - 国内外の再エネ発電容量を100万kw超へ拡大(国内太陽光発電をはじめ、洋上・陸上風力発電を展開)
- ▶ 自社リソースをフル活用したエネルギーサービスの創出
 - 自家消費支援事業(屋根借り太陽光発電)の推進
 - 自社電源、蓄電池、分散電源(卒FIT等)を活用したVPP実証の実施
- ▶ 海外水素サプライチェーン構築に向けた実証
 - 日豪PJ(液化水素)への参画や再エネ電源などからCO₂フリー水素の貯蔵・輸送の実現可能性を検討

あらゆるデータを連携・データベース化し、アプリ等を通じてお客様が望む利便性の高いサービスを提供するENEOSプラットフォームを構築

*1 VPP(Virtual Power Plant)…点在する小規模な再エネ発電や蓄電池、燃料電池等の設備と、電力の需要を管理するネットワーク・システムをまとめて制御するシステム

*2 PV(Photovoltaics)…太陽光発電

2020年度上半期決算(IFRS)の概況

決算情報詳細は当社ホームページに掲載しています。

連結業績



【2020年度上半期の主な増減要因(前年同期比)】

売上高

■原油価格の下落や販売数量の減少などにより、△1兆7,008億円の減収。

営業利益

■堅調な国内石油製品マージンによる下支えや電子材料の増販があったものの、コロナ禍に伴う石油製品の販売減少や原油価格低迷による石油・天然ガス開発事業の損益悪化、また、製油所再編に伴う一時的な損失などにより、営業利益は前期比△420億円の減益。

親会社の所有者に帰属する当期利益

■営業利益の減少などを主因に、△346億円の減益。

連結バランスシート



連結キャッシュフロー

	上半期 (実績)
営業利益(在庫影響除き)	1,259
減価償却費	1,638
運転資金増減ほか	9
営業キャッシュフロー (休日影響除き)	2,906 (2,906)
投資キャッシュフロー	△1,339
フリーキャッシュフロー	1,567
(休日影響除き)	(1,567)
配当ほか	△889
ネットキャッシュフロー	678

【2020年度上半期の主な要因】

■フリーキャッシュフローは+1,567億円となったが、配当金の支払いなどにより、ネットキャッシュフローは678億円のキャッシュイン。

■純有利子負債は、ネットキャッシュフローのプラスなどにより、前期末比△825億円の減少。

■資本合計は配当金の支払いなどにより、前期末比△325億円の減少。

■結果、ネットD/ELレシオは0.7倍。

※ネットD/ELレシオ=純有利子負債÷資本合計

	2019年度上半期	2020年度上半期
為替レート(円/ドル)	109	107
原油価格(ドバイスポット、ドル/バレル)	64	37
銅価(LME、セント/ポンド)	270	269

各事業別営業利益

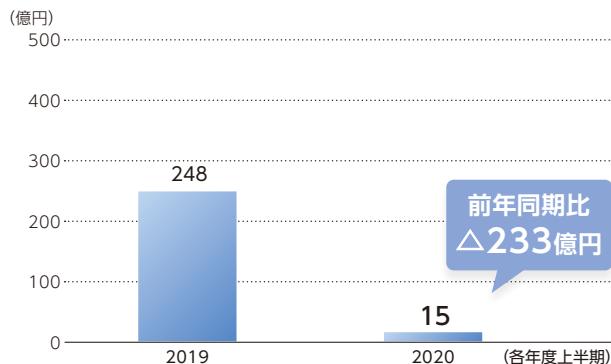
エネルギー事業



2020年度上半期実績

在庫影響を除いた実質営業利益は、堅調な国内石油製品マージンによる下支えがあったものの、コロナ禍による石油製品などの販売数量減少、製油所再編に伴う一時的損失の発生により、 Δ 302億円の減益。

石油・天然ガス開発事業



2020年度上半期実績

コロナ禍に起因する資源価格低迷により、 Δ 233億円の減益。

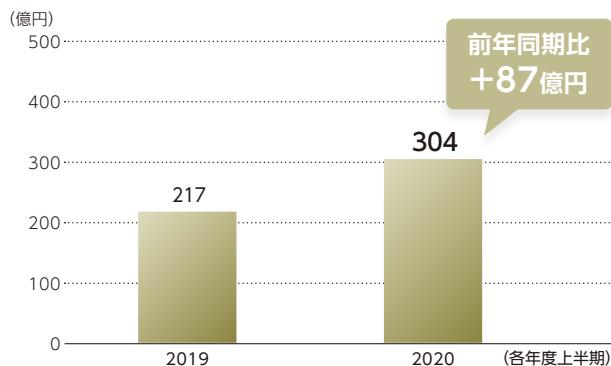
金属事業



2020年度上半期実績

データ通信需要の増大に伴う機能材料・薄膜材料の販売数量増加などが良化要因となったが、カセロネス銅鉱山の生産量減少などにより、+5億円の増益。

その他事業



2020年度上半期実績

不動産開発事業の大型案件売却などにより、+87億円の増益。

ENEOSグループのESGの取り組み

「ENEOS REPORT 統合レポート2020」の発行について



「ENEOSグループ理念」において、当社は持続可能な社会の発展と活力ある未来づくりを宣言しています。これは、社会価値と経済価値の両立を図っていくことで実現できるもので、国連で採択された持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs) や環境・社会・ガバナンス (ESG) の考え方とも合致するものです。

財務情報と非財務情報を一体化させた本統合レポートでは、このグループ理念の実現に向けた当社グループの価値創造の取り組みについて基本的な考え方を整理しています。また、「2040年長期ビジョン」「第2次中期経営計画」を踏まえた中長期的な成長戦略の全体像を「価値創造ストーリー」として取り纏めるとともに、企業価値を最大化する戦略や将来の新たな成長の柱をしっかりと育てるための取り組みについて具体的に報告しています。ステークホルダーの皆様には、当社グループの活動をより深くご理解いただけるものと考えています。

本統合レポートの編集にあたっては、経済産業省が策定した企業と投資家をつなぐ共通言語としての指針「価値協創ガイダンス」を参照しています。



詳細は、当社ウェブサイト <https://www.hd.eneos.co.jp/ir/library/annual/> をぜひご覧ください。

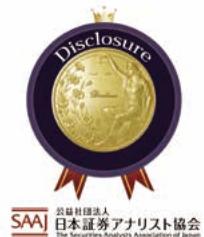
IR活動と評価について

日本証券アナリスト協会が発表する「ディスクロージャー優良企業選定2020」において、2年連続エネルギー部門第1位に選出されました。

ディスクロージャー優良企業選定は、公益社団法人日本証券アナリスト協会が企業情報開示の促進・向上を目的として1995年度から開始し、今回で26回目を迎えた選定制度です。選定にあたり、各業種の証券アナリストが、①経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス、②説明会、インタビュー、説明資料等における開示、③フェア・ディスクロージャー、④コーポレート・ガバナンスに関連する情報の開示、⑤各業種の状況に即した自主的な情報開示、の5分野について評価し、優良企業を選定します。

当社は石油・鉱業・電力・ガスの計21社が対象となるエネルギー部門で、昨年に続き2年連続第1位という高い評価を獲得しました。

ディスクロージャー
2020年度 優良企業



文化振興

2020年11月20日、ENEOS児童文化賞・音楽賞の表彰式をオンラインで開催いたしました。



<http://www.eneos-award-2020.com/>

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、新しいスタイルの表彰式としました。表彰式の様子は、上記リンクにてご視聴いただけますので、ぜひご覧ください。

なお、ENEOS童話賞の表彰式につきましては、本年度は中止といたしました。

ENEOS童話賞

1970年の創設以来、毎年、「心のふれあい」をテーマとするオリジナル創作童話を募集し、優秀作品を顕彰しております。

ENEOS児童文化賞

1966年の創設以来、毎年、わが国の児童文化の発展・向上に大きく貢献した個人または団体を顕彰しております。童画家、教育者、写真家など、受賞者と受賞分野の多彩さがこの賞の特色です。

ENEOS音楽賞

1971年の創設以来、毎年、わが国の音楽文化の発展・向上に大きく貢献した個人または団体を顕彰しております。邦楽部門・洋楽部門を併せ持ち、単年度の功績ではなくそれまでの実績全体に視点をいたした選考を行っている点がこの賞の特色です。



ENEOS童話賞・児童文化賞・音楽賞は、公益社団法人企業メセナ協議会より芸術・文化支援による豊かな社会づくりの取り組みとして認定されました。

2020年度受賞者(敬称略)

名称		氏名	作品名・分野	
第51回 ENEOS童話賞	一般の部	佐藤 悦子	「長ネギ1本」	
	中学生の部	小川 桃葉	「紫の紫陽花が咲く日には」	
	小学生以下の部	古屋 璃佳	「ひとり図書館」	
第55回 ENEOS児童文化賞		落合 恵子	作家	
第50回 ENEOS音楽賞	邦楽部門	伶楽舎	雅楽演奏グループ	
	洋楽部門	本賞	佐藤 美枝子	ソプラノ
		奨励賞	アントネッロ (主宰：濱田 芳通)	古楽アンサンブル

※第51回 ENEOS童話賞は最優秀賞受賞者

童話賞入賞作品を一冊にまとめた「童話の花束」の売上金は、すべて「ENEOS童話基金」に組み入れられ、「ENEOS奨学助成制度」の運営資金となります。これ



らは、全国の児童福祉施設などで暮らす子どもたちが、大学や専門学校へ進学する際の入学支度金の一部として活用されています。

2019年度は、640名の子どもたちに支援を行いました。2004年の制度開始以来、6,482名の子どもたちに行った支援は、累計で6億3,745万円となります。

News Flash ニュースフラッシュ

● ホールディングス・エネルギー ● 石油・天然ガス開発 ● 金属

- 2020年 4月 ● 「扇島都市ガス供給株式会社」の都市ガス製造・供給設備の商業運転を開始
- 5月 ● 室蘭バイオマス発電所の商業運転を開始
- 6月 ● 圧延銅箔・高機能銅合金条および半導体用スパッタリングターゲットの増産に向けた設備導入を完了
- CHITOSE BIO EVOLUTION PTE. LTD. と光合成を活用した低炭素社会実現に向けた協業を開始
- 7月 ● 静岡県と「静岡市清水区袖師地区を中心とした次世代型エネルギーの推進と地域づくりにかかる基本合意書」を締結
- 株式会社 Luupと電動マイクロモビリティの社会普及に向けた協業を開始
- 大分港大在西区地区へのリサイクル原料物流拠点設置に伴う立地表明式を実施
- 9月 ● ENEOSカーリース事業の実証を開始
- SS併設コインランドリー「ENEOS Laundry」を開始
- 中国石油国際事業日本株式会社と千葉製油所における協業継続を最終合意
- 10月 ● 宮崎県新富町と低炭素・循環型の持続可能なまちづくりを目指した連携協定を締結
- 2021年10月を目途に、知多製造所の製造機能を停止することを決定
- 11月 ● 二酸化炭素地中貯留技術研究組合へ加入
- カセロネス銅鉱山の全権益を三井金属鉱業株式会社および三井物産株式会社から取得することについて基本合意

ESG関連投資インデックス構成銘柄への組み入れ状況

当社は、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) に関する取り組みが評価され、国内外のESG関連投資インデックスに組み入れられています。



MSCI Japan ESG Select Leaders Index



MSCI Japan Empowering Women Index (WIN)



当社は、年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が採用する4つのESG指数に選定されています

会社情報

社名 ENEOSホールディングス株式会社
(英文: ENEOS Holdings, Inc.)

本店所在地 〒100-8161 東京都千代田区大手町一丁目1番2号

設立年月日 2010年4月1日

資本金 1,000億円

連結対象会社数 689社 [2020年3月31日現在]
(連結子会社517社、持分法適用会社172社)

連結従業員数 40,983名 [2020年3月31日現在]

役員 (2020年9月30日時点)

取締役

代表取締役会長 グループCEO	杉森 務
代表取締役社長 社長執行役員	大田 勝幸
取締役 副社長執行役員 社長補佐	横井 敬和
取締役 副社長執行役員 社長補佐(環境安全部・品質保証部)	岩瀬 淳一
取締役 副社長執行役員 CDO 社長補佐(経営企画部・ESG推進部・IT戦略部・未来事業推進部) (Chief Digital Officer) IT戦略部・未来事業推進部 管掌	安達 博治
取締役 副社長執行役員 社長補佐(秘書部・監査部・内部統制部・経理部・財務IR部・人事部・広報部・総務部・法務部・危機管理部・調達戦略部)	谷田部 靖
取締役(非常勤) JX石油開発(株) 代表取締役社長 社長執行役員	細井 裕嗣
取締役(非常勤) JX金属(株) 代表取締役社長 社長執行役員	村山 誠一
社外取締役	大田 弘子
社外取締役	大塚 陸毅
社外取締役	宮田 賀生

取締役監査等委員

取締役(常勤監査等委員)	加藤 仁
取締役(常勤監査等委員)	太内 義明
社外取締役(監査等委員)	西岡清一郎
社外取締役(監査等委員)	三屋 裕子
社外取締役(監査等委員)	岡 俊子

執行役員

常務執行役員 秘書部・人事部・総務部・法務部・危機管理部・調達戦略部 管掌	田口 聡
常務執行役員 経営企画部・ESG推進部 管掌	中原 俊也
常務執行役員 監査部・内部統制部 管掌	佐藤 能央
常務執行役員 環境安全部・品質保証部 管掌	木村 裕之
常務執行役員 経理部・財務IR部・広報部 管掌	田中聡一郎
執行役員 調達戦略部長	染谷 喜幸
執行役員 未来事業推進部長	矢崎 靖典
執行役員 IT戦略部長	下屋敷 武
執行役員 経理部長	四谷 九吾
執行役員 環境安全部長	寺本 光司
執行役員 広報部長	松本 啓介
執行役員 経営企画部長	須永耕太郎

IRカレンダー (2021年1月~6月)(予定)

1月	
2月	2月初旬 ● 2021年3月期 第3四半期決算発表
3月	3月末 ● 期末配当基準日
4月	
5月	5月初旬 ● 2021年3月期 決算発表
6月	6月上旬 ● 第11回定時株主総会招集ご通知 発送 6月下旬 ● 第11回定時株主総会開催 ● 2021夏号 株主通信発行

▶ IRホームページ(株主・投資家情報)のご案内

ENEOSグループの最新ニュース、決算情報、CSR活動の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を掲載していますので、ご利用ください。

ENEOSホールディングス

検索

<https://www.hd.eneos.co.jp>

株主・投資家情報



株主情報

株式の概要 (2020年9月30日現在)

株式の状況	発行可能株式総数	8,000,000,000株
	発行済株式総数	3,230,282,649株
	株主数	284,844名

所有者別株式分布状況

証券会社	7.85%	個人	19.32%
自己株式	0.23%		
その他	1.55%		
外国人	30.38%	金融機関	33.97%
その他の法人	6.70%		

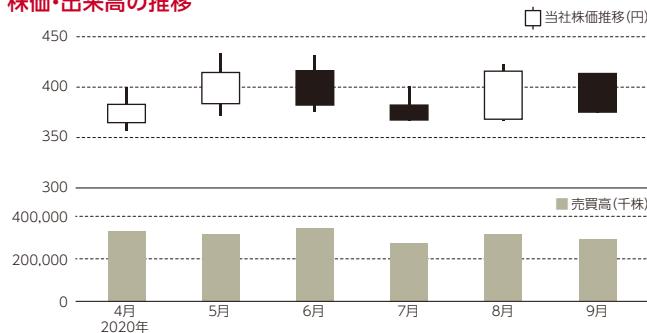


大株主(上位10位)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	278,868	8.65
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	202,899	6.29
全国共済農業協同組合連合会	68,898	2.13
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	67,461	2.09
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	62,740	1.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	61,558	1.90
SMBC日興証券株式会社	51,016	1.58
JP MORGAN CHASE BANK 385781	49,047	1.52
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	46,651	1.44
JPモルガン証券株式会社	36,720	1.13

(注)持株比率は自己株式(7,272,936株)を控除して計算しております。

株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
1単元の株式数	100株
公告掲載方法	電子公告による。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行うこととする。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同事務取扱所(郵便物送付先、照会先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間: 平日9:00~17:00

● **住所変更、単元未満株式の買取りおよび売渡請求等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、特別口座管理機関であります三井住友信託銀行株式会社が住所変更等のお申出先となります。
本件に関するお問い合わせ先は、上記株主名簿管理人となります。

● **未払い配当金の支払いについて**
上記株主名簿管理人にお申し出ください。

● **「配当金計算書」について**
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
また、株式数比例配分方式をご選択いただいております株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認願います。
なお、配当金領収証により配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいておりますので、確定申告を行う際まで大切に保管願います。

